



深い庇で日射しをコントロール 「港北区H邸」

敷地面積159・56㎡(48・26坪) 延床面積97・71㎡(29・55坪)



可動本棚を持つ子ども室

(ご主人) 15年前に築20年の中古の家を購入し住んでいましたが、2011年に東日本大震災、2013年の爆弾低気圧では家が大きく揺られて身の危険を感じるほどでした。家が構造的に弱いのだと思い、リフォームか建て替えかを考え、知っている工務店に相談したところ、「建て替えた家の床面積が減って一部屋なくなります」と言われました。そこで、オルタスクエアに相談してみました。すると、ちょうど同じタイミングで隣地が売り出され、これを購入。広くなった敷地にこの家を設計してもらったのです。西側が道路で西日がきついため、特にその対策はお願いしました。

(奥様) オルタスクエアのことは前からチラリ等

で知っていて、「木と漆喰の家はいいな」と思っていました。設計の鈴木さんをお願いしたのは、風通しの良さ、特にお風呂場は乾きが良いように、キッチンにはアイランドの作業台、たっぷり洗濯物を干せる場所などです。

■1年間住んでみていかがですか？

(ご主人) 以前の家は冬寒く、寒さで起きてしまうほどでした。しかし、この家ではそのようなことが全くありません。一方、夏の暑さも防いでくれて、時々エアコンを入れることで過ごしています。

(奥様) この自然の木の床の肌触りはとても気持ちいいです。猫の「シオ」(♀・4才)は、夏はこの木の床に腹ばいになって寝ています。私の友達たちが遊びに来ると、みんな建具の「引戸」がとてもいいと言います。

(ご主人) 夏の日差しを遮るように南側の庇を深くしてもらったのも良かったですね。私の書斎スペースから新横浜の街並みが見えるのもちょっとうれしい設計です。

(奥様) 収納はかなり考えてもらったつもりですが、もっと増やしてもよかったですかな。今後も相談しながら工夫して行こうと思います。

地球にやさしい暮らし方。



001

建物幅いっぱいのベランダは視界が開けて室内もひろびろ感じられる効果があります。もちろん沢山の洗濯物と布団が干せま



002

階段下を利用した換気扇・照明付き猫トイレです。猫砂の買い置きスペースも兼ねています。猫のシオちゃんが実演協力してくれました。



003

リビングの庭を眺める窓は引込み式上げ下げ障子。庭だけ眺めたい時は下だけ開けるなど、様々なシーンをつくり出せます。



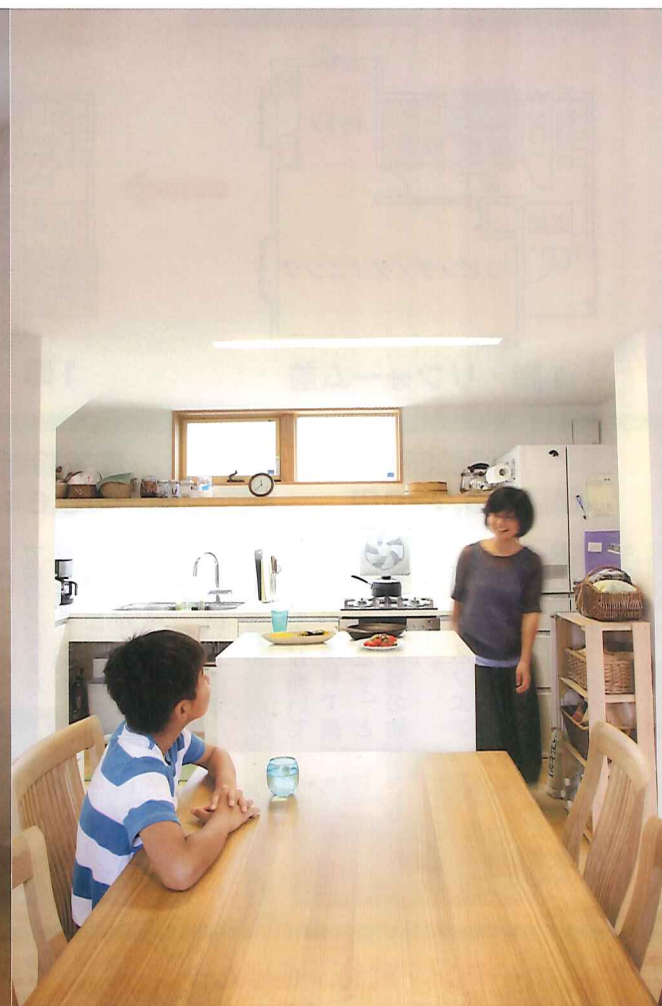
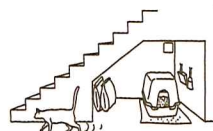
004

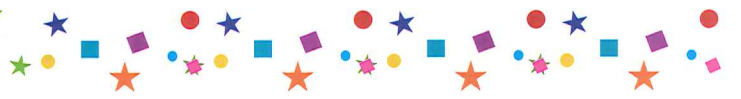
ご主人の書斎からは、高台ならではの景観を楽しめます。本棚は階段の手すり壁を利用しています。



005

室内から外ガラスを拭ける機能のある木製サッシ。断熱性能も高く、気密もしっかりしています。花台と併せて家の趣きをつくりだします。





大規模間取り変更と自然素材で実現した居心地よい生活空間リフォーム 茅ヶ崎市F邸

■ご夫妻とお嬢さん3人のFさんご家族。今のお家に住んで十数年が経ち、お嬢さんたちが大きくなり自分たちの部屋がほしくなってきたこと、そしてFさんご自身、自然素材をいかしながらのリフォームの希望イメージが膨らんで来たことから、当社にご相談をいただきました。

「2014年の春の住まい展に、家の図面を持参してリフォーム相談に行き、大野さんに対応していただきました。相談の中でリフォームの形が見えて、プランの具体化のための打ち合わせを進めることにしました。娘たち3人が上の部屋を使いたいと要



↑ after

北側にあったキッチンリビングのお嬢さんたちの勉強スペースに移動。新たに寝室となる和室が出来ました。「アイランドカウンターの収納が役立っています」(Fさん)

望したので、私たち夫婦の寝室を1階にすることも含めた間取り変更を考えました。」

一、キッチンと北側から南側のリビングに移動し、旧キッチンスペースを和室に

「今まで北側にあったキッチンは、使い勝手が悪く、風が通らなくてじめじめしてました。そこで、これまで子どもたちの勉強スペースを兼ねていたリビングに対面式キッチンを置くことにし、旧キッチンスペースは引戸で間仕切れる和室にしました。音楽練習室にもなり、夜は私たち夫婦の寝室にもなります。」

二、浴室と洗面室の位置を交換

「娘たちから、玄関ホールに面していたトイレ出入口を変えてほしいとの要望があり、洗面室と浴室の場所を入れ替え、洗面室からトイレに入りするようにしました。私が忙しかった時期が重なり、打ち合わせは結局1年くらいかかりましたが、その間、大野さんは非常にフットワーク軽く対応してくれました。私が「ここをこうしたらどうなるだろう?」というとき、その場でさらさらっとスケッチを描いてイメージを見せてくれました。ショールームにも何回も同行していただきました。」

去年の秋にリフォームが完成し、冬と夏をすごしました。自然の木の床と漆喰の壁にとっても満足しています。冬は床暖房が心地よく、夏は漆喰壁がひんやりしています。また、廊下を挟んでキッチンの出入口と脱衣室の出入口が並んだことで、南から入ってキッチンを通る風が、脱衣室の北側の窓から抜けていき、とても風通しがよくなりました。」

↓ after

キッチンを通り、洗面へ風が抜けるようになりました。

障子のすっきりした美しさが好きなFさん。LDKの掃き出し窓に障子を設けました。床は秋田杉。

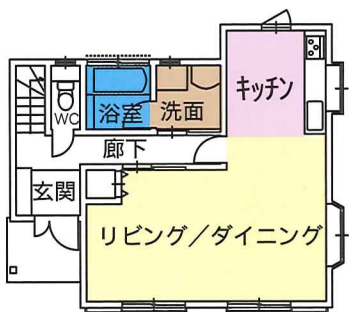


玄関収納の下段はキッチンと通じていて、風通し良い野菜の置き場になっています。

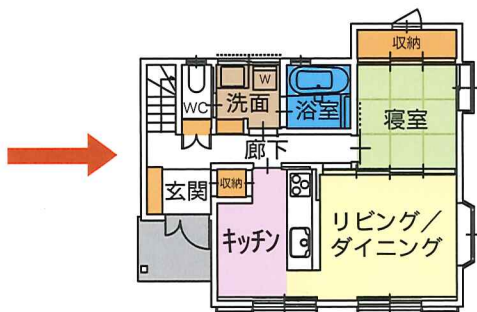


洗面室から出入りできるようになったトイレ

家族みんなで漆喰DIY



1階 リフォーム前



1階 リフォーム後

屋根診断 税込み9,720円

「屋根に穴が開いてますよ。無料で直してあげます」という悪質業者の訪問に注意！オルタスクエアの有料屋根診断は、専門家が屋根を点検し写真と報告書をお出しします。対策工が必要な場合はお見積もりもご提案します。



床下診断 税込み8,640円

床下の状態が気になったお家のために、専門家が床下にもくつて調査結果を写真とともに報告するメニュー。ご利用は1回のみです。万が一シロアリがいた場合は、人にもペットにも無害なシロアリ駆除工事(月桃「使用」)のお見積もりをお出しします。



オルタスクエアのおすすめメニュー



私たちオルタスクエア株式会社は 1998年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。

生活クラブの家づくり オルタスクエア株式会社

<http://www.a-sq.co.jp/>
生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F
電話: 045 (476) 1105 (日曜・祭日休)
FAX: 045 (476) 1106
mail: info@a-sq.co.jp
(ご相談はメールでも受け付けています!)





3つの「大切」を実現したリフォーム 藤沢市大鋸(だいきり)M邸

■Mさんは、生活クラブの生活リハビリ事業スタートの頃、職員としてワーカーズノ育成に関わり、現在は鍼灸マッサージ施術院を営みながら、福祉クラブ生協の顧問、また、地元藤沢市の様々な市民活動や東日本被災地支援など幅広く活動しています。隣りあわせに住んでいたご尊父が亡くなられ、そちらの家をリフォームして移り住むこととなり、昔からの知り合いである職員山田がいるオルタスクエアにご相談をいただきました。

Mさんからのメッセージ

オルタスクエアにリフォームをお願いする

- 一、古きものを大切に
アンティーク家具、古民具などが好きで多く持っています。これらを日々の生活用品として息づく空間をつくり、その中にとり、室内と身置きたい。
- 二、バリアフリーを大切に
車椅子を使用する家族がいるので、バリアフリーを意識しつつ、無垢の木の素材を生かしてのウッドデッキ併設スロープをつくり、室内とつながりたい。
- 三、ご近所・地域つながりを大切に
我が家の庭には枇杷やブルーベリーの樹

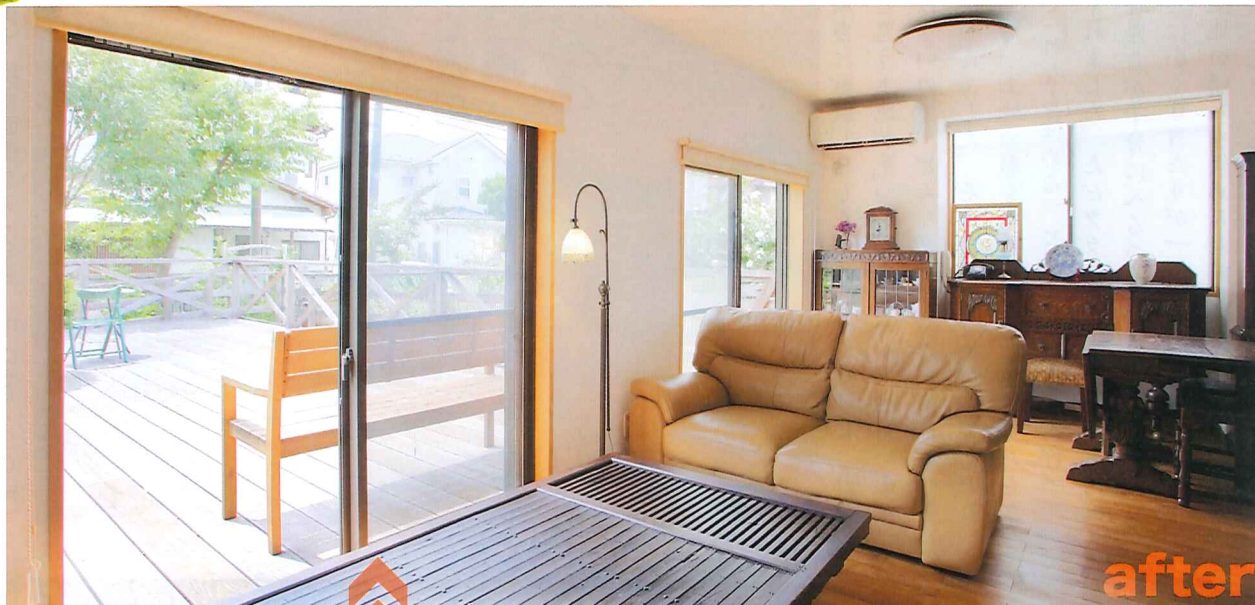
があつて、青空保育の子どもたちが収穫にきたりするなど、人が交流する拠点になっています。広々としたウッドデッキをつくることで、誰でも気楽に立ち寄れる「地域の縁側」にしたい。

今回の工事では、単に施主と業者というのではなく、担当の大野氏や大工さん、左官屋さんなどとコミュニケーションをとって一緒に家づくりを楽しみたいと思えました。大野氏には、気持ちのこもった仕事をしてもらい、色々と話ができる関係がもてたと感じます。ただ、完成間際の時期は、

かなり急がしそいで、コミュニケーションが取りづらかったかな。今後も、保守管理や修理等で末永きパートナーシップを築きたいと思っています。



国産杉材を窒素加熱処理した耐久木材を使用。ぐるりと廻るスロープは車椅子でもとても楽。



after

和室とダイニングキッチンの壁をなくして、広いLDKにしました。高かった和室の床とサッシをさげてリビングとそろえました。車椅子でのウッドデッキとの出入りもスムーズです。チークの無垢床・白い漆喰壁にアンティーク家具がとてなじんんでいます。窓ガラスは真空ガラス「スペーシア」で断熱性を高めました。

キッチン脇の廊下の開口は壁で塞ぎ、そのスペースを脱衣室にしました。そうすることで大型のアンティーク家具と冷蔵庫をおける壁スペースが生まれました。



和室 before



ダイニング before

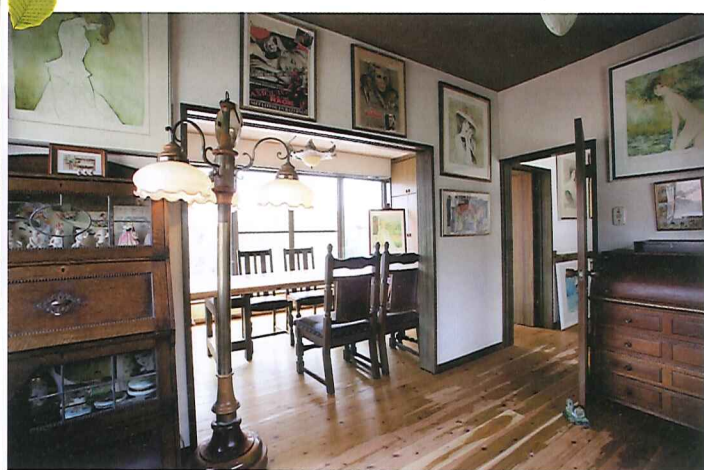
2階の和室と洋室を秋田杉の無垢床で統一しました。



after



ダイニングと和室には段差がありました。キッチンから廊下を介して浴室がありましたが、脱衣室がないのが問題でした。



広がったキッチン。水栓もシングルレバーに。勝手口扉も採風タイプに替えました。



after



キッチン before

国産減農薬・無農薬畳

- 減農薬イグサ4番毛
表替え 1畳 税込 8,964円
新畳(稲葉床) 1畳 税込 19,116円+古畳処分費税込 2,160円
- 無農薬イグサ2番毛
表替え 1畳 税込 13,068円
新畳(稲葉床) 1畳 税込 23,220円+古畳処分費税込 2,160円

九州熊本県・佐賀県で生産者が土作りから丹精込めて育てたイグサは、昔ながらの「泥染め」により、独特の色と香りと耐久性を持つようになります。

輸入品のように塗料を塗っていないので靴下に色がつかず、簡単にささくれることもありません。

そして、人の心を和らげる香り。希望者に畳の資料お送りします。

『組合員でなくてもオルタに出会えた住まい』

長年のご夫婦の夢をかなえた家「川崎M邸」
敷地面積 107・79㎡ (32・61坪) 延床面積 87・59㎡ (26・50坪)



集合住宅にお住まいだったMさんご家族。そろそろ戸建の家に住みたいと思い、今から4年前、東京ビッグサイトの住宅関連イベントに足を運ばれました。
「このイベントに行ったことが、私たちとオルタスクエアとの出会いでした。林産地の人から、木の家が健康に良いこと、国産木材を利用することの大切さなどの話を聞いたあとで、オルタのブースに立ち寄りました。そこで設計の塚原さんに声をかけていただき、写真や図面をもとに、設計の工夫やオルタの家づくりの考えなど、納得いくまで説明してもらいました。私たちは生活クラブの組合員ではなかったのですが、この機会があればオルタに設計を頼むことはなかったと思います。」



「夏を2回、冬を1回、この家で過ごしました。エアコンは設置せず、LDKのシーリングファンと扇風機だけで過ごしています。もちろん暑い日もありますが、どの窓とどの窓を開ければ風が良く流れるか工夫してのいでいます。冬は無垢の木床の床暖房が心地良いです。服を一枚多く着れば、他の暖房を使わなくて済みます。キッチンと洗面・脱衣室の床にも入れたのは大正解でした。」

「夏を2回、冬を1回、この家で過ごしました。エアコンは設置せず、LDKのシーリングファンと扇風機だけで過ごしています。もちろん暑い日もありますが、どの窓とどの窓を開ければ風が良く流れるか工夫してのいでいます。冬は無垢の木床の床暖房が心地良いです。服を一枚多く着れば、他の暖房を使わなくて済みます。キッチンと洗面・脱衣室の床にも入れたのは大正解でした。」

「このイベントに行ったことが、私たちとオルタスクエアとの出会いでした。林産地の人から、木の家が健康に良いこと、国産木材を利用することの大切さなどの話を聞いたあとで、オルタのブースに立ち寄りました。そこで設計の塚原さんに声をかけていただき、写真や図面をもとに、設計の工夫やオルタの家づくりの考えなど、納得いくまで説明してもらいました。私たちは生活クラブの組合員ではなかったのですが、この機会があればオルタに設計を頼むことはなかったと思います。」



あちこちにぬくもりがあふれる

玄関ポーチは、今は懐かしい洗い出し仕上です。年を重ねることに味わいがでることでしよう。

キッチン家具は背面収納も含め、既製のシステムではなく、オリジナル製作の木製家具です。

天井の高いリビングではボール遊びだってできちゃう！

2階の子供部屋は広いワンルーム。将来、必要に応じて間仕切れるようになっています。

2階のサンルーム。内装木材の調湿の力で雨の日でもすぐに洗濯物が乾きます。お子さんたちの体力づくりにも役かっています。



LDKの一角にあるご主人の書斎コーナー。引き戸で囲えるようになっています

住まいや土地のお悩み相談は生活クラブの住宅会社 オルタスクエアまで ☎ 045 (476) 1105